

# 音声対話コーパスのマークアップ

土屋俊（千葉大学）

板橋秀一（産業技術総合研究所、国立情報学研究所）

大須賀智子（国立情報学研究所）

音声対話の記録は、言語がもつ線状的な特性を破壊する点で興味深いものであるが、それを TEI 文書として記述するために必要なメカニズムを実際のコーディング例に即して検討する。1993 年に千葉大学で収録された音声対話 128 件について、発話者、発話時間などを含んだ文書を作成する際に問題となった点を議論するとともに、音声言語の記録の前提となる音声言語現象の一般的な形式的モデルについて提案を行ない、それらのすべてに整合的な TEI 文書を実現することが可能であることを示す。